

# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告

< No.37 2011. 7. 2 > 連絡先 402-1622

## たくさんの傍聴 ありがとうございました

### ――初質問 無事終了

6月24日、3番目に一般質問を行ないました。午前中に二人終わりましたので、午後一番の登壇となりました。茨城県で経験があるとはいえ、議場もひろく、4年半ぶりということで緊張しましたが、沢山の方々が傍聴に来てくださり、支えて頂いたおかげで、無事終えることが出来ました。ありがとうございました。

私は、「防災対策について」「水道行政について」の二つの項目で質問を行ないました。（詳しくは裏面を見てください）



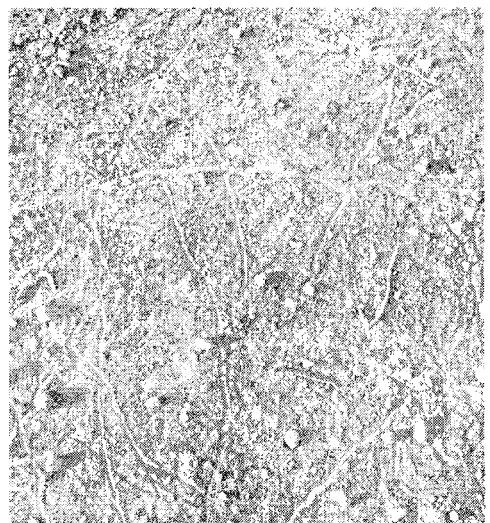
終了後、傍聴に来てくださったみなさんといっしょに写真を撮りました。

（28日付、しんぶん赤旗日刊紙に掲載されました。）

#### みち子のひとりごと 「迷路」

ているのでしようか。結局はひからびて、砂まみれになって、鳥のえさになってしまっただけなのに。前の夜の雨や湿度に誘われて出てきたけれども、朝までにねぐらに帰れず、迷ったあげくの、迷路つくりとなっているようです。みみずが作る「芸術作品」に見入ってしまった朝でした。

朝、歩いていてふと地面を見ると、そこには迷路のように幾重にも線が描かれています。見えるでしょうか？  
線をたどるとあちこちで、みみずがのたうちまわっており、みみずのはいまわった跡が、地面に迷路となって残っているのです。  
それにしても、晴れた日の朝、なんのためにわざわざ地面に出



# 安心して避難できる 避難所に

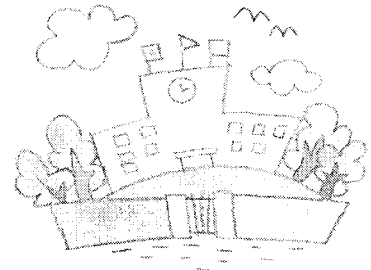
市内避難所と指定されている小中学校12校を訪問するなかで明らかとなってきた問題について、「施設・設備」、「体制・運営」、「避難場所の周知徹底と避難路の安全」の3つの角度から質問を行いました。

トイレの問題では、この議会で公共下水道接続型仮設トイレが補正予算化されており、障害者対応の施設になっていることから、それを広げるとともに、公共下水道の通っていないところでは他の方法も含めて検討するように求めました。体育館へのスロープ設置は今後すすめていくこと、小学校ではすでに設置されている双方向の通信設備を中学校へも設置を目指すとの、答弁がありました。また、発電機・投光機も今回補正予算化されており、使用方法などしっかりと指導するよう求め、市は「指導し、テストも繰り返し行う」と答えました。

さらに、避難所の開設がスムーズに行われるよう体制・運営はどうなっているのか、水、毛布などの備品や、発電機とそれを動かすためのガソリンなどの保管場所など、避難所として必要な情報を行政側と学校側で共有できているのか、質しました。市は、避難所は施設管理者（学校）、災害調査員（地域の職員）、避難所運営担当課職員で、開設運営する、情報共有のために「避難所運営必要品箱」を各避難所に置くなど、答えました。

避難路についても、日常の道路整備が災害時の危険を減らすことになると、道路の整備をすすめるよう求めました。

最後に、スムーズな運営のために、学校と行政の意思の疎通が必要であり、安心して避難所のためにさらに努力することを求めました。



## 水道事業における災害対策と漏水問題

災害時のライフラインとしての水道事業の重要性の認識、災害対策の現状と課題、今後の計画、漏水問題の現状と認識について質しました。市は、「災害に強いライフラインの確立が必要である、現状としては、配水管と加納浄水場の耐震化、配水池の増設をすすめている、漏水問題では、老朽化した配水管・給水管の布設替えを行っており、今年度から鉛管の改善にも取り組む」との答弁でした。

最後に市長は「水道事業の地震対策は一刻の猶予も許されない状況にある。日頃から災害に強い施設作りを進めるとともに、災害が発生した場合においても、迅速かつ適切な応急給水活動が実施できるように努めている」と答えました。

